

1. 平成23年度事業報告・決算報告、監査報告

1) 事業報告

a) 事務局

(1) 会議

総会・評議員会：平成23年4月23日（土） 18：00～20：00

理事会：第3回；平成23年4月23日、平成24年1月7日

(2) ニュース等への掲載依頼、協賛・後援の依頼、
機関誌の寄贈、等

(3) 会員管理、ホームページ管理

(4) その他

b) 学術振興事業

(1) 学術研修研究部

学術大会開催

① 第53回学術大会

日 時：平成23年4月24日（日）

場 所：埼玉医科大学かわごえクリニック 6F 会議室

大会長：乙戸崇寛（埼玉医科大学）

テーマ：徒手理学療法学教育の確立に向けて

② 第54回学術大会

日 時：平成23年11月12日（土）

会 場：国際医療福祉大学保健医療学部 F101教室

大会長：（国際医療福祉大学保健医療学部）

テーマ：保健福祉分野への挑戦

③ 第55回学術大会

日 時：平成23年11月27日（日）

会 場：愛仁会リハビリテーション病院（大阪府高槻市）

大会長：池上泰友（愛仁会千船病院リハビリテーション科）

テーマ：一步踏み出す理学療法アプローチ

④ 第56回学術大会

日 時：平成24年1月8日（日）

会 場：国際医療福祉大学小田原保健医療学部

大会長：佐藤仁（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）

テーマ：理学療法UP TO DATE

研修会開催

① 第25回夏期研修会

日 時：平成23年7月23,24日（土、日）

会 場：百日草ホール（東京巣鴨）

テーマ：健康増進への挑戦

② 第8回秋期研修会

日 時：平成23年10月16日（日）

会 場：杏林大学

テーマ：理学療法効果判定に用いる臨床評価指標の有用性

③ 第12回春期研修会

日 時：平成24年3月18,19日（土・日）

会 場：百日草ホール（東京巣鴨）

テーマ：心電図と運動負荷 そして 心臓理学療法

講習会開催

① スペシャリスト講習会

1) 運動理学療法スペシャリスト講習会

入門 平成24年1月22日 政大学多摩キャンパス

入門 平成24年2月5日 中部学院大学関キャンパス

入門 平成 24 年 3 月 18 日 政大学多摩キャンパス
 初級 下肢コース 平成 23 年 4 月 23, 24 日 法政大学
 初級 上肢コース 平成 23 年 5 月 14, 15 日 法政大学
 初級 頸椎コース 平成 23 年 6 月 11, 12 日 仙台リハ
 初級 腰椎コース 平成 23 年 7 月 2, 3 日 中部学院大学
 初級 上肢コース 平成 23 年 10 月 22, 23 日 国際医療福祉大学大田原
 初級 腰部・骨盤コース 平成 23 年 11 月 12, 13 日 仙台リハビリ専門学校
 初級 上肢コース 平成 24 年 2 月 4, 5 日 中部学院大学関キャンパス
 上級 頸部コース 平成 23 年 8 月 27, 28 日 法政大学多摩キャンパス
 上級 上肢コース 平成 23 年 9 月 24, 25 日 法政大学多摩キャンパス
 上級 下肢コース 平成 24 年 1 月 21, 22 日 法政大学多摩キャンパス
 上級 腰部・骨盤コース 平成 24 年 3 月 17, 18 日 法政大学多摩キャンパス
 専門セラピスト認定試験：平成 23 年 10 月 22 日 国際医療福祉大学大田原

2) 呼吸理学療法スペシャリスト実技講習会

Aコース（呼吸機能評価と呼吸介助手技実践・12時間）

日程；平成23年9月24, 25日（土日）

Bコース（PNFを用いた呼吸筋機能改善と呼吸関連器具活用実践・12時間）

日程；平成23年10月15, 16日（土日）

Cコース（徒手療法を用いた胸郭と脊柱の関節運動練習と呼吸運動練習、12時間）

日程；平成11月26, 27日（土日）

- ・担当講師；秋山純和・中山彰博・廣瀬 昇、その他
- ・会場；帝京科学大学（〒409-0193 山梨県上野原市八ツ沢 2525）

3) 心臓理学療法スペシャリスト講習会 3月の春期講習会と共催

4) NJFスペシャリスト講習会（講師：霍明）

NJF 基礎実技講習会（腰椎、仙椎） 平成 23 年 5 月 23, 24 日

NJF 基礎実技講習会（手、肩） 平成 23 年 6 月 25, 26 日

NJF 基礎実技講習会（肩甲、頸椎） 平成 23 年 10 月 29, 30 日

NJF 理論講習会（上肢、頸、胸） 平成 23 年 11 月 26, 27 日

NJF 基礎実技講習会（膝足、股） 平成 24 年 2 月 18, 19 日

・会場；百日草ホール

6) マニュアルセラピー（講師：斉藤昭彦） 場所：杏林大学
開催中止

② 脳卒中講習会

日時；平成23年11月26, 27日（土日）

場所；杏林大学医学部

内容；脳卒中患者に対する課題指向型アプローチの理論と実際

講師；潮見泰蔵、今井樹、臼田滋、大橋ゆかり、藤田博暁

③ 教員のための国家試験対策講習会

日時；平成23年7月29, 30日

場所；百日草ホール（東京巣鴨）

内容；教員のための国家試験対策

④ 学生のための講習会

国家試験傾向と対策 平成23年8月2, 3日

基礎講習会 平成23年12月27-29日

セミナー

① 足底反射療法セミナー 平成23年4月17日 百日草ホール

- ② 計測セミナー 平成23年6月11, 12日 百日草ホール
- ③ 画像セミナー 平成23年7月9, 10日 百日草ホール

研究会

- ① 第12回教育FD研究会 平成23年7月2日
- ② 第13回教育FD研究会 平成24年1月7日

OSCE講習会

- ①第4回OSCE実技講習会 平成23年7月3日
- ②第5回OSCE実技講習会 平成24年2月12日

(2)編集委員会

- 1)和文誌 “理学療法科学” 6回発行 (第26巻) 特別号5回発行
- 2)英文誌 “Journal of Physical Therapy Science” 6回発行 (Vol. 23)
- 3)インターネットジャーナル「症例報告ライブラリー」
- 4)書籍等の出版：達人改訂、その他改訂 新版：基礎単

(3)研究倫理委員会

研究倫理の審査

(4)PT学生への支援 (リハナビ)

c) 国際学術交流事業

(1)講習会 (講師 霍明)

- 1)第14回神経筋関節促通法 (NJF)講習会 日時：2011年8月9-11日
場所：リハビリテーション研究センター
内容：NJF (理論と実技) 受講生：16名
- 2)第15回神経筋関節促通法 (NJF)講習会 日時：2011年8月12日
場所：病院
内容：NJF (理論と実技) 受講生：20名
- 3)第16回神経筋関節促通法 (NJF)講習会 日時：2011年12月23-26日
場所：病院
内容：NJF (頷椎・上肢の理論と実技) 受講生：25名
- 4)第17回神経筋関節促通法 (NJF)講習会 日時：2012年3月25-27日
場所：リハビリテーション研究センター
内容：NJF 実技受講生：21名

その他

- 特別講演：日本の理学療法の現状 丸山 平成23年12月22日 労災病院
- 特別講演：日本の理学療法教育の現状 丸山 平成24年3月30日 医科大学
- 理学療法技術の紹介 霍明 平成24年3月30日 医科大学

(2)国際学術大会

- ①第10回国際学術大会
日時：平成24年3月23-25日
場所：リハビリテーションセンター
- ②第6回国際リハビリフォーラム 平成23年10月21-23日 共催

(3)留学生および海外派遣の援助

国際交流 (基地交流)

- 学術基地協定 (2011年12月24日) 学術協定 (2012年3月28日)
- 学術基地協定 (2012年3月30日)

論文表彰 (理学療法科学)
優秀論文賞 (7論文)

西川正志・他：整形外科米澤病院
再荷重がラットヒラメ筋廃用性萎縮の回復に及ぼす影響
理学療法科学 26 (1) : 133-137, 2011.

梅井凡子・他：県立広島大学
虚血再灌流後に起こる骨格筋の変化—ラットによる実験的研究—
理学療法科学 26 (2) : 191-195, 2011.
駆血と固定が筋萎縮に与える影響—ラットを用いた実験的研究—
理学療法科学 26 (2) : 259-262, 2011.

徳永由太・他：新潟医療福祉大学大学院
矢状面膝関節モデルを用いた着地動作時に生じる膝前十字靭帯張力負荷の推定
理学療法科学 26 (4) : 499-505, 2011.

二階堂泰隆・他：愛媛県立中央病院
パーキンソン病患者に対する後進歩行運動が姿勢と姿勢制御に与える即時効果
理学療法科学 26 (4) : 449-453, 2011.

袴田将弘・他：愛善会由良病院
施設内認知症高齢者の転倒発生前における臨床症状推移に関する検討
理学療法科学 26 (5) : 641-646, 2011.

渡部潤一・他：
座位姿勢の変化が前方リーチ距離と立ち上がり後の立位バランスに及ぼす影響
理学療法科学 26 (6) : 743-746, 2011.

千代丸正志・他：文京学院大学
傾斜板による踵骨外反が立位姿勢に与える影響
理学療法科学 26 (6) : 747-751, 2011.

論文表彰 (Journal of physical therapy)
優秀論文賞 (6論文)

Kaori Sato et al: Gunma University School of Health Sciences
Differential Responses of Myogenic C2C12 Cells to Hypoxia between Growth and
Muscle-Induction Phases: Growth, Differentiation and Motility
J Phy Ther Sci 23(1):161-169, 2011.

Hideki Koeda et al: Kobe International University
Medical Accident Prevention Education in Physical Therapy Schools in Japan
J Phy Ther Sci 23(2):289-301, 2011.

Tsutomu Abe et al: Itabashi Rehabilitation Home-visiting Nursing Station
The Relationship Between Pulmonary Function and Physical Function and Mobility in
Community-Dwelling Elderly Women Aged 75 Years or Older.

J Phy Ther Sci 23(3):443-449, 2011.

Rae Joon Park et al: College of Rehabilitation Science, Daegu University
The Effect of Microcurrent Electrical Stimulation on the Foot Blood Circulation and Pain of Diabetic Neuropathy.
J Phy Ther Sci 23(3):515-518, 2011.

Masaya Koeda et al: Kobe Ekisaikai Hospital
Effects of a Fear of Falling on Patients Undergoing Surgery for a Fracture of the Proximal Femur and Factors Leading to the Elimination of that Fear.
J Phy Ther Sci 23(6):829-835, 2011.

Rumi Kaneda et al:Nagasaki University graduate school of biomedical sciences
Factors that Impact Anxiety and Depression in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease.
J Phy Ther Sci 23(6):927-931, 2011.

2) 平成23年度決算、財産目録、監査報告

平成23年度決算				
科目	H23年予算額	H23年決算額	差引額	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費	17,000,000	20,677,010	△ 3,677,010	
② 参加費	1,700,000	2,133,450	△ 433,450	
③ 書籍広告費	400,000	660,040	△ 260,040	
④ 雑収入	700,000	607,286	92,714	
事業活動収入計	19,800,000	24,077,786	△ 4,277,786	
2. 事業活動支出				
① 学術振興事業				
学術大会	900,000	1,219,165	△ 319,165	4回
研修会	4,300,000	4,100,151	199,849	
編集委員会	8,200,000	9,042,948	△ 842,948	印刷費含む
研究倫理委員会	50,000	0	50,000	
学生支援支出	1,500,000	1,597,575	△ 97,575	
③ 国際協力交流				
学術指導協力	1,100,000	1,330,749	△ 230,749	学会研修会
④ 管理費				
通信費	300,000	699,151	△ 399,151	
会議費	400,000	243,370	156,630	
会員管理委託	1,200,000	846,182	353,818	名簿、HP
旅費	200,000	0	200,000	
備品消耗品	200,000	0	200,000	
雑費	200,000	376,575	△ 176,575	
事業活動支出計	18,550,000	19,455,866	△ 905,866	
事業活動収支差額	1,250,000	4,621,920	△ 3,371,920	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	30周年
投資活動支出計	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000	
投資活動収支差額	△ 1,000,000	△ 3,000,000	2,000,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	100,000	300,000	△ 200,000	
当期収支差額	150,000	1,321,920	100,000	
前期繰越収支差額	△ 166,960	△ 166,960	0	
次期繰越収支差額	△ 16,960	1,154,960	△ 1,171,920	

財 産 目 録			
平成24年3月31日現在			
		一般社団法人 理学療法科学学会	
		(単位：円)	
科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	709,928		
普通預金			
三菱東京UFJ銀行西池袋支店	1,138,261		
郵便貯金	2,432,770		
現金預金合計	4,280,959		
仮払金	15,300		
流動資産合計		4,296,259	
2. 固定資産			
特定資産			
普通預金			
三菱東京UFJ銀行西池袋支店	3,000,000		
特定資産合計	3,000,000		
固定資産合計		3,000,000	
資産合計			7,296,259
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	52,500		
預り金	18,799		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		141,299	
負債合計			141,299
資本			7,154,960

事業計画会計監査

(1)事業監査

事業報告にみるように、学術振興事業における学術研修研究活動は学術大会 4 回（第 53 回～56 回）、研修会 3 回（第 25 回夏期、第 8 回秋期、第 28 回春期）、講習会入門・初・上級・専門認定含め 16 回、スペシャリスト呼吸 A・B・C コース・心臓・NJF5 回、脳卒中講習会、国家試験対策講習会、学生のための国家試験対策、セミナー、教育FD研究会、OSCE 実技講習会（第 4 回、5 回）、学術誌編集委員会（和文誌、英文誌）、研究倫理委員会、そして国際学術交流事業（外国との交流中心）を幅広く行ってきた。事業活動の幅は広がり、事業の質的な向上も会員、一般の理学療法士のニーズも非常に高まり、それに積極的に応えて事業を遂行してきたことを認める。

また 3・11 東日本大震災後の年度で本会としては震災寄付 30 万円を行い、哀悼の意を表した。

(2)会計監査

平成 23 年度は、学会事業などを積極的に行ったため事業支出などが若干増加してきている部分があるが、概ね事業に沿った予算執行が行われたことを認める。

(3)平成 24 年度事業計画

事業については、基本的メニューはほぼ一杯に幅を広げ参加のマンパワーもフルに行っているため、基本的には継続となる。また学術誌の編集を通じてアジア中近東などからの投稿もあるようで、国際的な活動の広がりを現状でどこまで行えるか検討が必要である。いずれ

にしろパンパワーと予算収入の増加の対応が追いついていくのかが問われるところである。

(4)予算監査

前年度の収支差額の解消を図りつつ、事業に沿った会計が行われるよう配慮したものとなっていることを認める。

平成 24 年 4 月 21 日

監事 黒川 幸雄

今泉 寛